

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



認知症治療病棟 夏祭り



まだまだ残暑厳しい8月29日に認知症治療病棟では夏祭りを開催いたしました。

今年の夏祭りの目玉は『ロケット射的』という、大きな的に向かって空気で飛ぶロケットのおもちゃを飛ばして点数を競うゲームです。参加された患者さんは、「えいっ！！」と思い切り掛け声をかけて力いっぱい空気入れをつぶしてロケットを飛ばしておられました。なかには想像以上のパワーを発揮して的の壁を超えるまでロケットを飛ばした方もおられ、会場がどっと沸きました。周りで見学されていた方も拍手をしたり、「お～」と歓声を上げて、参加者全員で盛り上がることができました。

夏祭りの最後には、スタッフが患者さんお一人お一人の元を回って大太鼓を叩いてもらったり、歌に合わせて炭坑節を踊ったりして、夏らしい音色を楽しむことが出来ました。熱中症対策のため、常に冷房を入れる環境での療養生活のため、季節感が鈍くなりがちですが、今回の夏祭りを通して、束の間の熱い夏！を味わうことができたと思います。



ドンドンカッカ!!太鼓の音が響きます



大きな的に向かってロケット発射!!

非常食訓練

大正12年に発生した関東大震災にちなみ、9月1日は「防災の日」とされています。この日は、災害についての認識を深めるとともに、それらに対する備えを強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減を助けることを目的として制定された日です。当院では今年も防災の日に併せて、昼食時に非常食訓練を実施し、非常食のおじやを提供しました。停電や断水でライフラインが使えない状況を想定しているため、照明やエレベーターは使用しません。看護スタッフが倉庫からおじや、水、使い捨て食器を運び、患者さんへ配膳しました。普段とは違う形で食事を準備し、非常時への備えを確認する大切な機会となりました。



追悼会

当院では、この一年間入院中に亡くなられた方のご冥福をお祈りするため、毎年8月のお盆の時期に追悼会（ついとうえ）を開催しております。

8月21日に浄土真宗本願寺派真宗寺より2名来院いただき、読経による供養とその後、参加者による焼香及び、仏教贊歌にてご冥福をお祈りいたしました。亡くなられた患者さんの事を偲びながら、これからもスタッフ一同、より良い精神科医療の実現に向けて精進して参ります。



一日ナース体験

8月7日に中学生1名を受け入れて、一日ナース体験を実施しました。デイケアに通う利用者さんと一緒に創作活動などのレクリエーションを体験してもらい、共に活動し共に食事をし、交流する大切さを肌で感じる貴重な時間となったと思います。参加した中学生は初めは緊張していましたが、患者さんとの触れ合いを通じて徐々に気持ちが和らぎ、心のケアに関わる良い経験となったことでしょう。体験後のアンケートからは「患者さんと実際に関わることが出来て良かったです」との感想もありました。未来の看護師を目指すきっかけとなればと願っています。



山口県立大学 看護栄養学部看護学科 精神科実習

8月6日、山口県立大学衛生看護学科の学生60名が当院に臨地実習で来院されました。はじめに病院の概要をスライドで説明し、施設の特徴や地域医療への役割について理解を深めてもらいました。その後、病棟や保護室などを見学し、病院の設備や機能を学びました。見学後の質疑応答では、学生から活発な質問が寄せられ、充実した時間となりました。



編集後記



秋の訪れとともに、日が沈むのが早くなってきました。仕事帰りの空が暗くなり、夜空にきれいなお月様が見られる日も多くなってきました。まだ暑さの残る日が多いですが、朝夕には秋の気配を感じられるようになりました。季節の変化を楽しみながら、気温の変化には注意して健康にお過ごしください。

